

令和元年第4回江差町議会定例会資料 No.2

- 資料21：11月5日、6日、7日開催のまちづくり懇話会の出席者数及び議事要点記録 …P 1
- 資料22：江小、南小校区内における今後10年間の学年別児童数の推移 …P 13
- 資料23：これまで実施されてきた、江差町職員（準職員。臨時職員含む）の賃金の
独自削減の経緯（過去10年）と現時点での独自削減の状況 …P 15

令和元年度まちづくり懇話会における参加者の意見一覧

<令和元年11月29日 広報統計係>

□ テーマ：「第6次総合計画の策定に向けて」

□ 開催日程等

日 時	場 所	参加対象者	出席者数	ページ数
11月5日(火) 18:30～	水堀コミュニティセンター	農業関係者 (農業従事者、新はこだて農協江差支店、江差土地改良区)	23名	P1～P3
11月6日(水) 15:30～	対鷗館	観光業関係者 (江差観光コンベンション協会、江差旅館組合、旅館業者)	14名	P4～P7
11月6日(水) 18:30～	対鷗館	商業関係者 (小売業者、飲食業者、江差商工会)	17名	P8～P9
11月7日(木) 18:30～	漁村センター	漁業関係者 (漁業従事者、ひやま漁協江差支所)	16名	P10～P11

計 70名

<まちづくり推進課>

主な意見一覧(産業別)

1 江差の農業

No	意見内容等
1	成果のあった施策の今後の取り扱いはどのようなものか。
2	農業機械購入費用助成は、継続拡大してほしい。 農業共済掛金助成事業・暗渠排水整備についても営農の基盤となるものであり、継続してほしい。
3	農業機械購入費用助成は、現在補助率1/2で50万円が補助金額の上限であるが、大型機械の購入に対応した制度に拡充してほしい。
4	農地流動化促進補助をもっと拡大してほしい。 5年、10年後に離農する人が続出した場合、担い手も一度に農地を受けきれない。 実際他町農業者の入作もあり、現状のままでは町内の農業者がいなくなってしまう。 金額も買い手10,000円/10a、出し手1,000円/10aでは足りない。
5	(成果があまりなかったアスパラガス伏込栽培事業についてのようには考えていますかという町長の質問に対し)どこまで町がサポートしてくれるのかが不明。 先行投資が必要であり、採算が取れないイメージだった。手作業だけでなく、機械も必要になる。かぼちやの収穫・選別時期に作業が重なるため、アスパラの作業ができるか心配。 経営的にも採算が取れるか疑問であり、作業の割に収入につながらないイメージ。夏場の3倍は単価が高くなければメリットが出ないのではないか。
6	基盤整備について、施設の老朽化が進んでおり、応急的な修繕をしながら作業を行っている現状からすると、基盤整備の必要性は理解する。 事業には多額の負担が発生するため、一定の町の支援をしてほしい。

意見内容等

No	
7	<p>高齢化も進んでいる。若い担い手に引き継いでいかなければならない。 (担い手の経営面積の増加にあたり) 人手のかかる水稻やかぼちやなどの作物を豆類や小麦など機械化できる作物などに農業を変えなければいけない。 農業を変える方策の一つとしてスマート農業を推し進め、若い人に農地を守ってもらう必要がある。 農地は転売等をするようなものではない。半公共性があると思っている。</p>
8	<p>スマート農業について、農業用ドローンの操縦資格の取得に対する補助を行い、若手に資格取得を促してほしい。</p>
9	<p>基盤整備計画は計画どおり進めることができるのか。 担い手が土地を確保して経営拡大していくのであれば、作業効率を考えなければいけない。 機械導入に関しては、グループで共同利用するのが良いと思う。</p>
10	<p>基盤整備による大区画化はどこまで恩恵があるのか疑問である。 ICTも見据えた整備なら話は分かるが、現状の農機具を使用し続けるならメリットを感じない。</p>
11	<p>基盤整備について、越前地区の道道の改修にあたり、用地補償等がほとんどかからず、倉庫の更新ができず規模拡大ができない農業者がいる。 基盤整備で予算を使うのではなく、老朽化した倉庫の建設費の補助などに予算をつけてほしい。</p>
12	<p>基盤整備による大区画化を進めてもらいたい。 経営規模の拡大に合わせて農業機械も導入している農業者もいる。 スマート農業を考えないと現状の100m区画では作業効率が悪い。 スマート農業も当然必要である。資料の写真にある無人田植え機も、現状のほ場ではぬかるんで埋まってしま う。しっかりとしたほ場にする必要がある。 大区画化で効率のよい農業を行っている姿を担い手に示したい。</p>
13	<p>町内の農業者は高齢化が進んでいる。 新規就農に力を入れるべき。(第三者継承のことと思われる) という方法もある。 機械や土地を後継者に渡す「食べる」農業を示す必要があると考える。過去の失敗もあるが、検討が必要と考える。 何よりも後継者が「食べる」農業を示す必要があると考える。過去の失敗もあるが、検討が必要と考える。</p>

意見内容等

No	意見内容等
14	農地の売買は限度があるようだが、賃貸に対する助成があればよいのではないか。賃料がかからずに借りられれば、農業を拡大する意欲も出てくるのではないか。
15	空いている倉庫や、使用していない機械などがあれば借りたい。賃借の話をするのは当事者同士だが、きっかけ作りや情報提供をしてもらいたい。(使っていない機械はきちんと動くのか？壊したかどうか？という声も出た)
16	江差町は観光も推進しているが、この地域（農村地域）で適切な草刈りがされおらず、景観が悪くなっているところや子供が歩けない状況がある。ただ営農すればよいというものではない。寂れてきているのにさらに農村のイメージが悪くなってしまふ。
17	子供が熊がいて気軽に外で遊べないこともある。熊だけでなく鹿の農業被害も懸念されている。猟師が少ないと聞くが、狩猟免許の取得に対する助成なども検討してはどうか。
18	農村地域の現状のインターネット回線は、ISDNなのでとても通信速度が遅く不便である。スマート農業をすすめる上で光ケーブルが敷設されていない地域があるが対応できないか。光ケーブルの敷設が厳しくても、今後5Gも入ってくるので、それをw i - f i でカバーしていくなどの多面的な検討をして欲しい。
19	江差町は昔から農業に力を入れていない。米の直播は20年以上やっているが、そういったチャレンジに対する助成がない。昔は何もない中で自力ですべてを行ってきたが、現在は育てなければ育たない状況になっている。
20	アスパラガスは地域の作物として定着しているが、そろそろ地力も寿命である。(定植してから10年が目安と言われているが、15年以上経過している場所もある) ハウスをそのままにして土だけ入れ替えるのか、別の場所にハウスを建て替えるのか、いずれにしてもお金がかかる。(1年目は収穫できないので1年間の収入に穴が開く) これからのようにするか考えなければいけない。
21	松前町では、地元の材料を使って牛舎を建て、町営で牛を繁殖させて販売していくよくだ。その仔牛を安く買えれば、繁殖牛を買わずに新規で畜産を始められるのではないか。

主な意見一覧(産業別)

2 江差の観光

No	意見内容等
1	<p>〈観光について〉 どのような方向で集客をしたいのか。 どのような施策を行って函館などに来ている観光客を誘客するのか。具体的に見えない。 日本遺産の指定、美しい村連合に加盟、歴まち、開陽丸、中村家と観光についての条件は、かなり整備されているが観光客に結びついていない。 具体的なものを町民、観光に関わる人たちと議論していく必要があると考える。</p>
2	<p>江差町の観光に対するストーリー一性が見えない。 (1)一過性の話題作りではなく、実際に消費者が求めているもの。 (2)この商品は、どういう客層を狙って作ったのか。 (3)ひとつの商品についても、こういう理由だから、こうして売りたい。 (4)江差町は、こういう町で、こんなことをしているの、こういう人に来てもらいたい。 これらのストーリーを町民、事業者と議論し整理してからの観光情報発信だと思ふ。</p>
3	<p>宿泊施設が不足しているというが、実態調査はしたのか。 観光客、工事関係者、その他など宿泊客の層の調査が必要だと考える。 実態調査をし、どういう宿が不足しているのか把握する必要があるのではないか。</p>
4	<p>江差らしさ、歴史の歴史を感じると話していたが、具体的な動きが見えない。 例えば、歴まち街道の中に古民家風の宿を作り、街道を散策してもらおうこと考えたとして、そうするためには、まずは古民家風の宿を作るなどの動きをしなければならぬと思う。 町の動きを見ると、具体的にこのようにしたいから、このようにしたいというのが見えない。 食についても、世の中の関心のある物を考えて、それを先取りしていかなくては、観光客を増やすのは難しいと考える。 江差の魅力を感じてもらおうことと同時に、世の中の関心ごとにも取り入れていかなくては、観光客に来てもらえないと考える。 このようなことを考えていくには、個人ではできないので、行政、事業所、農家、漁師などいろいろな人との連携を密にすることが必要と考</p>

意見内容等

No	意見内容等
5	町民に江差町は観光地という意識があるのか。まずは、観光関係事業者それぞれが、江差町の観光に絡めた商売をどう意識して観光地づくりにつなげるか考えていかなくてはならないと思う。
6	行政との懇話会の他に観光事業者、小売業者、飲食業者、宿泊事業者など様々な業種を集めた懇話会が必要だと思う。業者同士が話し合える場を行政で作ってもらいたい。
7	行政でも、観光協会でもなく、実際に営んでいる小売業者、飲食業者、観光事業者、宿泊事業者、農業者、漁業者など様々な方が連携していくことが必要だと思う。
8	観光客の宿泊施設の不足について、観光客数などの実態がわからない状況であるまま、宿泊施設が不足しているのはどうかと思う。実際の数字でないものを利用して計画を立てるのはおかしいと思う。実際の数字を踏まえ、計画を策定してもらいたい。
9	観光協会としても、観光客の入込数について、裏付けが欲しいので、各宿泊施設で、宿泊の目的を簡単なアンケートなどをとることはできないだろうか。
10	旅館組合としては、今年の5月から観光・ビジネス・その他の3つのジャンルで聞き取りを行って集計しているが、新規事業者による宿泊施設建設補助の問題以降行政には出していない。
11	そのようにしているのであれば、ぜひ、行政等に情報提供をして、観光関係団体が一緒に実態を把握した中で、年齢層、グループの種類など詳細を掴んだうえで、情報共有をし観光振興につなげていくのが良いのではないか。また、その情報提供の協力をいただけることにより、観光協会でも助かるし、行政でも計画策定していくうえで生かすことができると思う。
12	宿泊数については、役場から、上半期下半期で調査依頼が来ているので、旅館組合としてではないが各旅館個々としては、この何年間調査表を提出している。
13	提出依頼があり、提出しているのであれば、旅館組合としても、ぜひ協力をさせていただきたい。
14	それであれば、話がかみ合わないのではないか。町長の前段の説明では、宿泊数がないから判断できないと言っていたのではないか。

意見内容等

No	
15	<p>(旅館組合では、5月から客層の種類について聞き取りししていると話していたが、どのような状況かという質問に対し) 大体、観光客は、宿泊者の2割から3割くらいだと思います。今現在では、そのくらいなので、これから観光シーズンのオフに入るとほぼ0になり、問合せ自体もない状況なので全体でみるとさらに割合は減るのではないかと。</p>
16	<p>(追分大会開催期間中に関係なく、追分関係者が来町したときに宿泊施設に空きがなく泊まれないという声を聴くが実際の状況はどうなのかという質問に対し)</p> <p>2～3年前から、江差町では、風力関係で業者が宿泊している状況なので、現状平日については、旅館としても助けられている状況にある。ゴールデンウィーク・お祭り・追分大会に重なった場合は、泊まれないということもある。</p> <p>ただし、追分大会については、江差町の宿泊施設は、各追分支部から来た宿泊客を最優先にして宿泊できるようにし、余った客室がある場合は、ビジネス客を宿泊できるようにしている。</p> <p>宿泊客があふれてしまうというのは、年10日程度だと思われる。</p>
17	<p>江差町に来る観光客などの流動人口を観光協会としても増やし、少しでも経済に結び付けていきたいと考えている。</p> <p>そのことから、観光の要となる、旅館組合や宿泊施設の方が協力するという姿勢でなければ、観光振興には繋がらない。</p> <p>観光協会としても宿泊施設関係者の協力がなければ、観光事業等にPRするにしても自信を持ってPRができないう状況にある。</p> <p>ぜひ、旅館組合を含めその他の方たちも観光客ということも考えながら努力している姿勢を見たいと思う。</p>
18	<p>このような懇話会があるのであれば、各団体で、事前に議論し要望等をまとめることや、各事業所が集まってこのようなことをしたいとまとめて、懇話会に臨む方が良いのではないかと思う。そうでもしないと、話はまとまらず、言いつばなしの懇話会になってしまうのではないかと。</p>
19	<p>現在の江差町の団体を考えると、例えば、観光協会に旅館組合が入っておらず本場の宿泊事業者の声が伝わっているかなど、職種は関係なく実際に営んでいる関係個別事業者の声が伝わっていない状況ではないか。そのような状況では、前に進まないと考えられる。</p> <p>各団体、各事業所などのかみ合わせがうまくいっていない状況を解決し、話し合うと必ず前に進む。</p>
20	<p>宿泊施設で、夕食を提供していない施設もある。</p> <p>土日祝日に観光目的の客が特に多いのだが、日曜日だと営業している飲食店がない。</p> <p>このことから、何軒かいいので町に飲食店の土日祝日営業を要望した。</p> <p>それがなかなかうまくいっておらず、現状も営業している店がない。</p>

意見内容等

No	意見内容等
21	<p>宿泊施設で、夕食の提供を考えたことはあり、去年1年間はやってみましたが、金額的に宿泊費込で高額となってしまふ。また、高額な夕食込の宿泊費に見合う食材の提供が難しく、客に高いというイメージしか残らないと思ひ断念した。 江差町に来てもらっているからには江差らしいものを食べしてほしい。</p>
22	<p>宿泊施設と飲食店で提携することはできないのか。 この問題は、行政というよりも、宿泊施設と飲食店が連携することにより解決できるのではないのか。</p>
23	<p>以前、行政にお弁当のセットと和定食の提供ができるという資料を持って、お弁当のPRができないか相談に行ったことがあった。 しかし、群来しかPRしていないと言われ断られたので、それ以降は、お弁当の提供などについての相談には行ってない。</p>
24	<p>行政で、江差らしいものが安く手に入る方法の情報提供をしてもらいたい。</p>
25	<p>仕入先とかは、各事業所で探さなくてはならないものなのか。</p>
26	<p>横山家の再開はいつなのか。 この問題は、観光にとって大切な問題だと思う。 後回しになっているのではないか。</p>
27	<p>観光協会に宿泊事業者が少ないのは事実なので、加盟していただきたいと考えている。</p>
28	<p>日本遺産認定の際に、江差町歴史文化基本構想という物を作成しているが、それに江差の観光路線や江差の目玉はこれだと明記されていると思うが、なぜそのとおりに着実に進めることができず、最初からのような議論を何度もするのかわからない。すごいメンバーをそろえて協議し作成したものであるのだからそれを活かして進めてはどうか。</p>

主な意見一覧(産業別)

3 江差の商業

No	意見内容等
1	商人はものを作ることができない。江差には商品がないため、商品を作る人材の確保と商品開発（加工）するための施設を設けてほしい。まなびっくなどに作る場所があっても、保存するもの（大きい冷蔵庫など）がない。
2	利益にどう繋げるかが課題で、アイデアを活かすために、町や振興局で資金調達や、技術的な面で支援いただきたい。加工の仕方、PRの協力などお願いしたい。また、行政で相談できる窓口を増やしていただきたい。
3	新しいメニューの考案の際に試作品として販売したいが、許可が必要のため、中々容易ではない。また、そういった施設もない。町で各店舗の試作品を仮販売する場を提供してほしい。
4	今は食材を真空パックで冷凍している。しかし大量に保存できるものや施設もない。冷蔵庫などは10年～15年で使えなくなり、良い設備を整えていくにはお金も必要となる。町にバックアップを期待したい。
5	江差のニシンについて、町民にまず知ってもらう、町民になじんでもらえるようになるしなければならない。役場としてもニシンを町民に獲れていくことや売っていることなど身近なことからもっと周知・普及すべきだと考える。
6	今の若い方はニシンについて、いつ獲れるのか、どういった魚なのかを知らない。だから今の食卓にニシンがあがることはない。観光客に提供もいいが、まずは町民に浸透できるように取り組みに期待したい。
7	ニシンは骨が多く難しい食材。ニシンには中々手をだせない。こういったことを含めて技術開発していけるような体制をとってほしい。
8	商業分野の方がどういった施設がほしいのか、どんな効果が得られるのかなどを協議したうえで相談にのってほしい。また、函館市のそういった技術を持つ人を講師にみなさんでアイデアを出し合って新たなものをつくっていく場をつくる必要がある。

意見内容等

No	意見内容等
9	高齢化が進んでいる状況での設備投資は厳しいと考える。
10	みんなで協力して話し合ったり技術を出し合う場を行政が設定してあげるといい。外部の方を呼ぶのもいいし、町内商店だけでもみんなで意見を出し合えばいいものができると思う。
11	買い物に困っているとよく聞く。 愛宕商店街は色んな商店があってみんなそれぞれが頑張ってる江差で唯一何でもそろっている場所。必ず存続させなければならぬ。 みんなが賑わいを保てるよう努力はするが、町にもいろいろな面で協力をお願いしたい。
12	今までのやり方ではいけないと思う。新しい取り組みを考えていきたい。 買い物をするための商店街ではなく、来て楽しい商店街とすることを考えている。 このことから、町としても、来て楽しいまちづくりを進めてほしい。
13	高齢者は特に人としゃべりたい。しかしそういう場がない。
14	商店街で行うイベントも大きくやると、人手も必要だし、商店には利益が出ない。小さくやる方がいい。
15	商工会では商品開発のサポートメニューが色々あるので、相談していただければ、できないこともあるがお手伝いできることもあると思う。
16	どの店にも共通して後継者がいないことが一番の問題。 後継者がいないから未来への投資ができない。 このことから後継者が戻ってきやすい環境を整える必要がある。 各商店街でどんな商店街にするのかテーマを持って活動していかなければならない。
17	これからの後継者問題は深刻。
18	商業だけでなく、町として楽しいまちづくりをしていくことに期待したい。
19	拠点化について上町商店街では全てが買える環境がないため、そういった環境をしっかりと整えていただきたい。

主な意見一覧(産業別)

4 江差の漁業

No	意見内容等
1	イカ漁について、漁師でも様々な形で努力しながらやってきていたが、東シナ海の乱獲などの様々な影響により、資源の回復が望めない状況にある。 そのような状況下で、町でも燃油などの助成をお願いしたい。 今の状況のままだと、漁師がいなくなってしまうのではないかと思う。
2	鷗島の方に今新しく防波堤を出している。内港の方に波が入ってきている状況がある。それを作るときにシミュレーションを行った経緯がある。最後のケーソンを曲げて作る計画だが、着手前に、新たなシミュレーションを行ってほしい。
3	港に落ちた時に陸に上がることができない。命にかかわることなので早急にはしごなどの設置を何ヶ所かしてもらいたい。
4	後継者問題で、若い世代が新規で漁業を始めることができず、莫大な費用がかかる。後継者に漁業に携わるとしたら、莫大な費用がかかる。
5	水揚げの中で、現在ナマコが大きな部分を占めている。人工採苗に限られた施設でおこなっている。採卵をするための施設の整備が必要となる。計画的に、養殖施設整備の支援ができれば提供してもらいたい。
6	今年、アワビも不漁となっており、種苗も購入して放流しようか考えたが、種苗自体もあまりよくないようなので見送った状況にあるが、今回は、特にこの近海ではあまり見られなかったマダコが大量発生してアワビも被害にあっているように、対策が必要と考えている。また、被害にあっているとしたら今までの以上に種苗の放流数を増やすことと、被害にあわない少し大きめの種苗の放流が必要と考えているが、そこに対する支援も町で考えていただきたい。

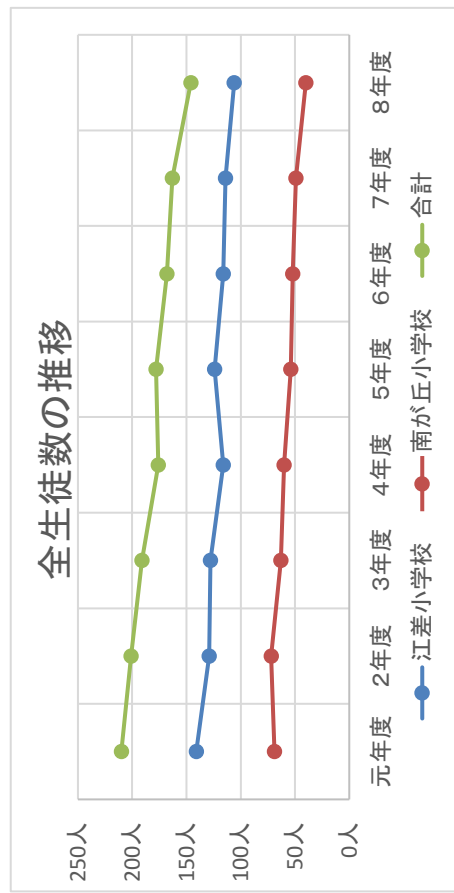
意見内容等

No	意見内容等
7	上屋について、補強等を行っているが、老朽が進んでいるので対策の支援を頂きたい。
8	以前に檜山振興局のアドバイスで昆布養殖をしたことがあるのだが、その際、区画漁業権の取得をしようとしたが取得できるところがあまりなく、上ノ国町との境界付近であまり良い環境とは思えない場所が当たった。 昆布養殖は5年間行ったが失敗し、その後、ヒラメやアロビなどの養殖も行ったがすべて失敗してしまっった。 今の江差では、良い所の区画漁業権の取得はできないと思う。 外海の資源が減ってきているため、増養殖の取り組みが必要な状況にあると考える。
9	色々なものを試験してきたが、港内では限りがある。港外では施設強度が不安で難しい。陸上養殖施設を考えるしかないのではないか。空き地で温泉利用できる施設を作って、漁業に対するものがなにかできないか。
10	江差の海に適している養殖等を考えていくうえで、専門的な知識を持った方と呼んで、意見を聞くのも良いのではないか。
11	漁業者の後継者が少なくなっている中で、地場産の物について、漁業者の状況や漁業の水揚げなどの状況を町内の方にも理解してもらい、町内販売の促進を考えてもらいたい。 そうしなければ、漁業者もいなくなり小売業者も共倒れになってしまうのではないか。 地場産品の町内循環の仕組みづくりができないか。
12	紅ズワイガニの船が係留しているところに、一部舗装がない場所があるのだが、そこにカニの液が垂れて土に浸透し、暖かくなると悪臭を発生させる。土の部分をも洗い流しやすくするように舗装等をしてもらいたいと要望しているが明確な回答がない。対策を考えてもらいたい。
13	水産加工場のテストプラント的なのものの建設について、都市計画区域の関係で建設できない。一部都市計画区域の解除等を行い建設できないものだろうか。
14	江差の現状を見ると、天然の水産資源頼みでは、漁業で生活していくには、不安がある。港外での養殖は難しい、港内と考えると限りがある。施設の検討も必要だと思う。個人的にはウニなどの養殖等にも機会があれば挑戦したいとは考えている。
15	水産関係のパイプ役になれるような専門職の人材を町として採用できないか。
16	漁具と漁船保険の助成について、漁具の助成が現在は団体対象となっているが、個人でも活用できるよう戻してもらいたい。

江小・南小校区内における学年別児童数の推移

●小学校入学児童数推移(令和8年度入学予定まで)

入学年度	令和8年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度		5年生	6年生	
							1年生	2年生	3年生			4年生
江差小学校	10	19	16	29	10	22	18	21	24	22	23	30
南が丘小学校	4	6	6	9	11	4	13	9	8	14	13	10
合計	14	25	22	38	21	26	31	30	32	36	36	40



●全生徒数推移

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
江差小学校	141人	129人	128人	116人	124人	116人	114人	106人
南が丘小学校	69人	72人	63人	60人	54人	52人	49人	40人
合計	210人	201人	191人	176人	178人	168人	163人	146人

給料・賃金等に係る独自削減の内容

一般職

- ①給料 平成15年度 1～3級1%・4～8級2%の削減
 平成16年度 1～3級3%・4～8級5%の削減
 平成19年度 1～2級5%・3～6級7%の削減
 平成24年度 1～2級3%・3～6級5%の削減
 平成29年度 1～2級1%・3～6級3%の削減（継続中）
- ②特殊勤務手当 平成14年度 組合による自主的返上（継続中）
- ③管理職手当 平成14年度 課長職10%⇒8%・補佐職8%⇒6%
 平成16年度 課長職 8%⇒5%・補佐職6%⇒4%
 平成19年度 課長職 5%⇒4%・補佐職4%⇒3%
 平成28年度 課長職 4%⇒6%・主幹職3%⇒5%
 平成29年度 課長職 6%⇒12.5%・主幹職5%⇒8%（復元済み）
- ④通勤手当 平成15年度 自家用車通勤手当1/2削減（継続中）
- ⑤住居手当 平成15年度 持家手当1/2削減（5,000円⇒2,500円）
 平成21年度 廃止
- ⑥期末勤勉手当役職加算 平成15年度 課長職15%⇒10%・補佐職10%⇒7%
 平成16年度 課長職10%⇒7%・補佐職 7%⇒5%・係長職5%⇒4%
 平成19年度 課長職 7%⇒3%・補佐職 5%⇒2%・係長職4%⇒1%
 平成26年度 課長職 3%⇒5%・主幹職 2%⇒4%・係長職1%⇒3%
 平成27年度 課長職 5%⇒6%・主幹職 4%⇒5%・係長職3%⇒4%
 平成28年度 課長職 6%⇒6%・主幹職 5%⇒5%・係長職4%⇒5%
 （継続中）（係長職のみ復元済み）
- ⑦期末手当 平成19年度 0.45月の削減
 平成21年度人事院勧告により実質0.10月の削減となる
 平成22年度より国と同等（復元済み）

準職員の賃金

- 平成15年度 期末手当3.0月⇒2.7月
 平成16年度 期末手当2.7月⇒2.5月・賃金月額1%削減
 平成17年度 期末手当2.5月⇒2.25月・寒冷地手当 給料月額×0.1+加算額⇒一律64,300円
 平成18年度 寒冷地手当 64,300円⇒43,000円（継続中）
 平成27年度 期末手当2.25月⇒2.6月
 平成28年度 期末手当2.6月⇒職員の期末勤勉手当合計月数と同月分支給・給料表改正（以降毎年、現在まで職員と同様の改正を行っている）

臨時職員の賃金

- 平成16年度 日額6,760円⇒6,560円・6,980円⇒6,770円
 平成17年度 日額6,560円⇒6,360円・6,770円⇒6,560円・月額支給者は2%削減
 平成26年度 月額支給者は5%UPで改正
 平成27年度 日額（6,360円⇒6,560円など）及び時間給（790円⇒820円など）改定
 通勤手当2km一律1,000円⇒1,000円（2km～5km未満）2,000円（5km以上）に改定
 （継続中）
 平成27年度より人事院勧告を反映した賃金表の見直しをしている（以降毎年、現在まで増額改定となっている）

